

9月に入り、空気の中に秋の気配を感じるようになりました。秋といえど、やはり「食」の季節です。みずみずしい梨や甘みの増したブドウ、ほくほくの栗、香ばしい秋刀魚の塩焼き、そして柔らかな秋茄子。そして待ちに待った新米をいただきましたが、その美味しさはやはり格別です。炊き上がった瞬間の香りからして違い、冷めてもなおお米の甘みと旨みがしっかりと感じられます。旬の食材を味わうことは昔は当たり前のことでしたが、今では少し贅沢なことなのかもしれません。皆さんは、どんな食べ物で秋の訪れを感じているでしょうか。猛暑だった夏もようやく落ち着き、朝晩は過ごしやすい気候になってきました。最近の私の楽しみは、入浴後の夕涼み。スマホは持たず、缶ビールを片手に家の前でアウトドア用の椅子に腰掛けます。虫の声に耳を傾けながら星空を眺めるこの時間は、何とも言えない心地よさがあります。幸いにも自宅の周りは街灯など人工的な明かりが少なく、星がとてもクリアに見えます。時折、流れ星が視界を横切ることもあり、多いときには一晩で2〜3回ほど見ることができます。意外と、流れ星は頻繁に現れるようです。空を見上げながら、子どもの頃に使っていた星座早見盤を思い出し、「あれがああ星座かな?」と想像を巡らせます。あえて調べ直すことはしませんが。そんな時間が20〜30分ほど続き、缶も空になり、汗も引いて心身ともにリフレッシュされます。

都会では夜でも明るく、なかなか星空をじっくり眺めることができません。だからこそ、こうした体験に魅力を感じる方も多いのではないのでしょうか。もっと多くの人に「星空のまち・穴水」の魅力を知っていただきたい。そしてそのための環境整備にも、これから取り組んでいきたいと思っています。